

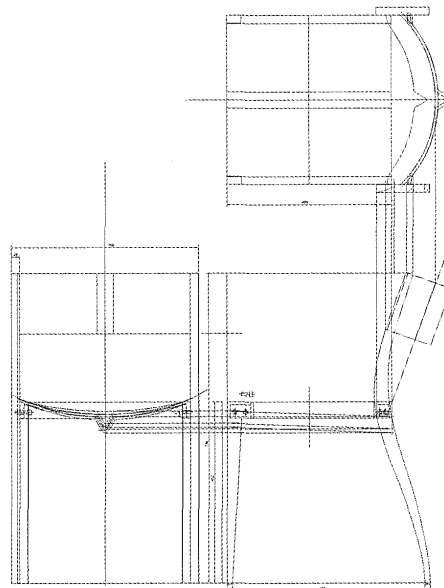
[制作記録]

アルミ鋳造による椅子 - AURA -

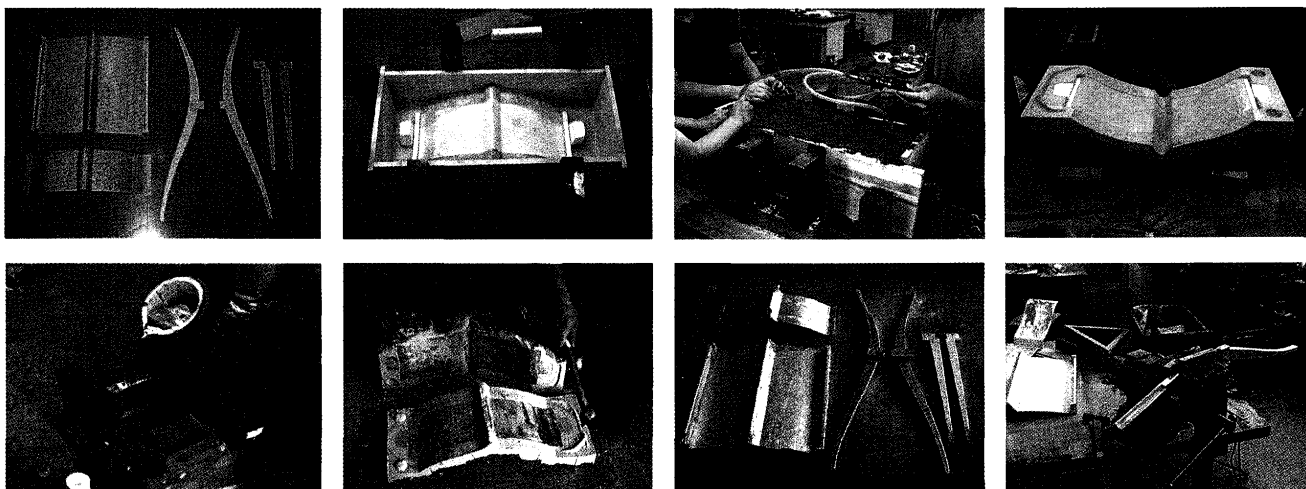
浅野 隆

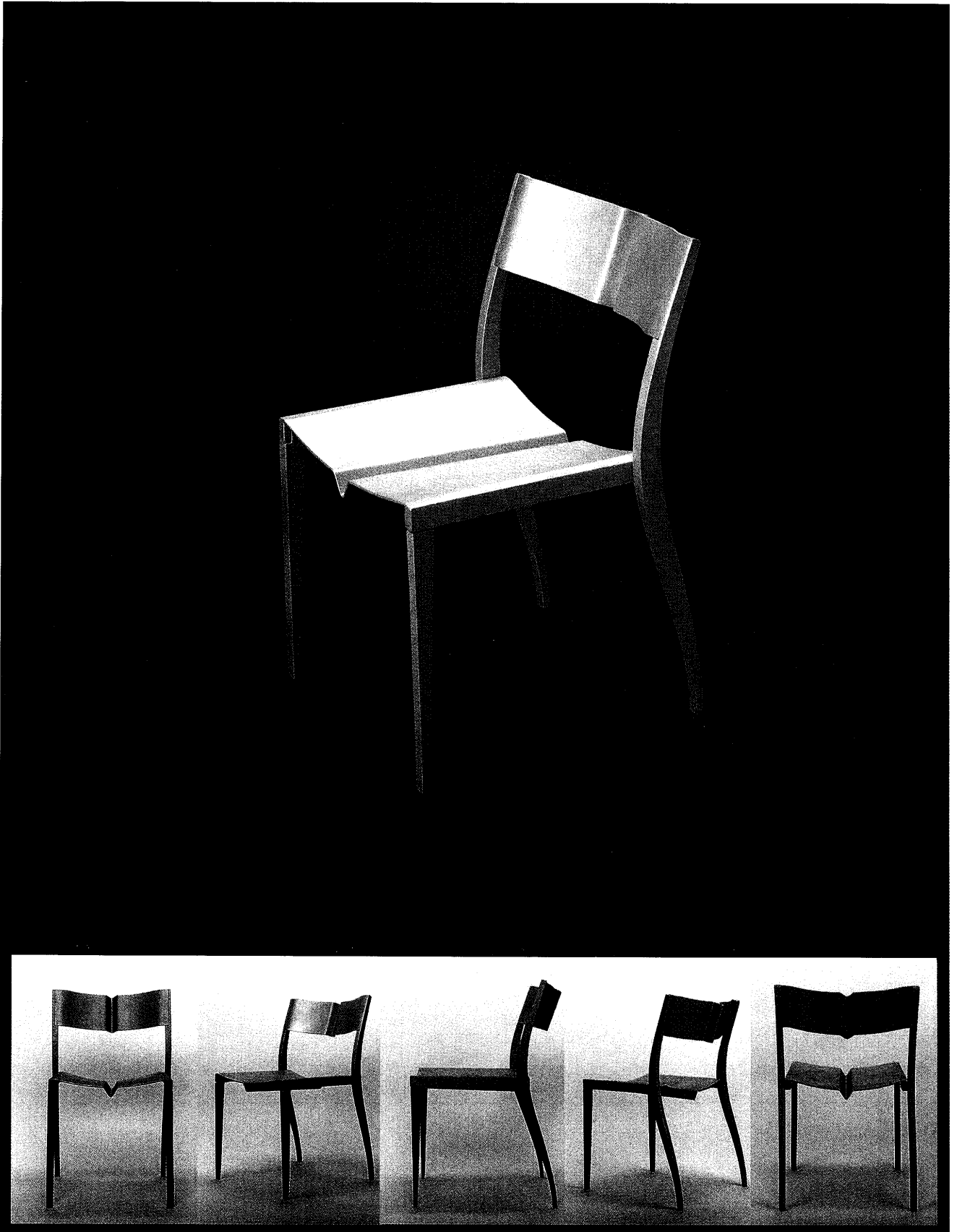
何もない空間に椅子が一脚。そこには明らかにオーラがただよう。椅子は小さな建築と言われるが、私は椅子に人の気配を感じる。生命を感じる。今回は、エレガントで、やさしく、気品があり、優雅で、それでいて凜とした強さを感じる女性のたたずまいをコンセプトに、アルミ鋳造で椅子をデザインした。これは、富山県総合デザインセンターの主催する、Design Wave in Toyama work shop 参加作品で、準備したスタイロフォームによるマスター型から、炭酸ガスで固まる砂で砂型を制作し、そこへ溶かしたアルミニウムを鋳造する技法で制作したものである。部材は、脚部4本と、座面、背もたれの6つパーツからなり、それらを、鋳造して仕上げた後、穴あけ等の機械加工をしてボルトで組み上げた。砂型からの鋳造は初めての経験で、仕上げにかなり時間を要したにもかかわらず、なかなかイメージ通りにはいきませんでした。 「アートとしての製品デザイン」を目指し、今後も研究を続けたい。

- 素材：アルミニウム（サンドブラスト仕上げ）
- 寸法：幅460×高さ750×奥行き500
- 重量：6.2Kg
- スタッキング可能



(あさの・たかし 製品デザイン)





制作・撮影協力：富山県総合デザインセンター